

# 京丹波町公共事業再評価審査委員会

## 第3回会議（会議概要）

日 時 平成24年2月28日（火）  
午前10時00分～正午

場 所 京丹波町役場 議場

出席委員 9名

（\*設置要綱第4条第2項の規定により、本委員会が成立）

### 1 開 会

- ・副町長挨拶
- ・委員長挨拶

### 2 議 事

#### (1) 対象事業(和知簡易水道事業)の再評価について

- ・事務局チェックシート、意見書(案)について説明  
(主な意見・質問等)

#### ・委員

この膜ろ過システムは、特殊なセラミック製のエレメントを使用しているが、部品供給およびメンテナンスについて担保されているのですか。

#### ・担当課

この膜ろ過システムは、普及過程にあり、途絶えることはないと認識しています。

#### ・委員

自動運転に関係する電子部品の供給、補修体制はどのようにしているのですか。

#### ・担当課

日常の運転も含めて年間を通じて管理業者に保守契約を締結しており、年1回は施設点検を行っています。

#### ・委員

保守契約の中に、修繕や交換部品の瑕疵なども含まれているのですか。

#### ・担当課

保守契約は、日常管理が基本となっており、大きな故障については別途契約としています。

#### ・委員

新たな施設建設の予定はあるのですか。

#### ・担当課

前回現地視察いただいた大簾の施設が最後となります。

・委員

膜ろ過装置を導入している施設はいくらあるのですか。また、その中で一番古い施設はどこですか。

・担当課

現在稼働しているのは中央、北部、上谷、広瀬の4箇所で、一番古い施設は平成12年度に別事業で建設した広瀬の施設です。

・委員

この施設の稼働状況を見て、問題が無いと判断して採用しているのですね。

・担当課

そのとおりです。

(2) 対象事業(和知簡易水道事業)に係る再評価審査のまとめ

- ・事務局チェックシート、意見書(案)について説明  
(主な意見・質問等)

・委員

どんどんアウトソーシングが進んでいく中で、外部に委託する部分と町職員が行う部分とのバランスをとることが必要であり、町の技術職員の育成が大切であると思われる。

今後においても、町としてきちんと責任がもてるようお願いしたい。

・担当課

十分検討していきたいと思います。

・委員

進捗率の70%とはどのように算出しているのですか。

・担当課

事業費ベースで算出しています。

・委員

電力供給に対して、町として停電時においても安定して水の供給ができるよう整備を進めてくようお願いします。

・担当課

理解しています。

・委員

コスト縮減で、管の埋設深さを60センチとしていますが、管や、接続部品の品質は確保できるのでしょうか。

・担当課  
耐えうるものを使用しており、施工については監督職員による確認を行い品質向上について努めていきたいと思えます。

・委員  
今後において、用地買収は必要となるのですか。

・担当課  
出野配水池の更新箇所が必要となります。

・委員  
事業の進捗に影響が無いように前もって業務に取り掛かるようお願いいたします。

・担当課  
わかりました。

・委員  
資料の中で、計画人口と、給水量の数値にばらつきがあるのですがなぜですか。

・担当課  
計画人口の4280人は当初計画時の予測で、給水量のばらつきは一般用以外の施設等の分を含んでいるためです。

・委員  
水道事業の一元化の検討はどのようにするのですか。

・担当課  
和知と、丹波瑞穂の事業では、それぞれの事業で補完計画は行っていないので、本事業では整備することはできませんが、完了後において検討の余地はあると認識しています。

・委員  
今後委員会からお願いしたいことを前回同様に別紙にまとめてはどうでしょうか。

・担当課  
了解しました。

3 その他  
特になし

4 閉会  
・隅山副委員長挨拶